



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月10日
東

上場会社名 株式会社NextOne 上場取引所
 コード番号 7094 URL <https://www.nex-tone.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 阿南 雅浩
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 渡邊 史弘 (TEL) 03-5766-8086
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	6,412	15.3	527	15.5	529	14.9	360	13.8
2022年3月期第3四半期	5,560	23.3	456	13.7	461	14.8	316	15.5

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 360百万円(13.8%) 2022年3月期第3四半期 316百万円(15.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	37.25	36.61
2022年3月期第3四半期	32.96	31.56

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	7,254	3,303	45.5
2022年3月期	6,549	2,919	44.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 3,303百万円 2022年3月期 2,919百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	0.00	—		
2023年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,560	27.6	890	25.6	890	24.8	540	11.9	56.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期3Q	9,807,600株	2022年3月期	9,766,200株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	96,537株	2022年3月期	100,030株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期3Q	9,687,508株	2022年3月期3Q	9,617,482株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び説明動画の入手方法)

決算補足説明資料は2023年2月10日(金)にTDnetにて開示するとともに当社ウェブサイトに掲載いたします。また、決算説明動画を後日当社ウェブサイトに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループが事業を展開する音楽関連市場は、一般社団法人日本レコード協会の調べによりますと、音楽ソフト（音楽ビデオ含む）の生産金額は前年同期比104%（2022年1月～12月）、有料音楽配信売上金額は前年同期比116%（2022年1月～9月）となりました。定額制音楽配信サービスや動画配信サービス等のストリーミング配信市場は拡大傾向が継続しつつ、CD/映像ソフトのリリース状況やライブ・コンサートの開催状況は新型コロナウイルス感染症（以下、「感染症」）拡大前には及ばないものの、回復の兆しが見られております。

このような情勢において、当社グループは、「権利者に選ばれ、利用者から支持される著作権管理事業者となる。」という経営理念の下、新しい時代の著作権エージェントを目指して、公平・公正かつ透明性の高い著作権使用料の徴収・分配、著作物利用に対する迅速かつ柔軟な対応などに取り組んでまいりました。

2022年4月からは当社管理作品の演奏権管理の一部における著作権使用料の徴収を開始しております。

また、引き続き新規契約及び既存権利者の管理範囲の拡大による取扱高の増加、With/Afterコロナにおける新たなサービスの開発提供等に注力しております。

主力の「著作権等管理事業（著作権管理業務及びデジタルコンテンツディストリビューション業務）」はリリースの復調、配信市場の伸長、管理楽曲と取扱原盤の増加、営業活動の強化等を背景に順調に進展しており、「キャッシング事業」は感染症の影響から徐々に持ち直し、全体として増収増益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は6,412,361千円（前年同期比115.3%）、営業利益は527,096千円（前年同期比115.5%）、経常利益は529,669千円（前年同期比114.9%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は360,813千円（前年同期比113.8%）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 著作権等管理事業

著作権管理業務においては音楽著作物の利用時期と当社著作権管理業務の売上計上時期にはおおよそ1～2四半期のタイムラグが生じるため、当第3四半期連結累計期間の音楽著作権使用料の対象となる利用時期は主に1月～9月となります。

当該期間のCD/映像ソフトのリリース状況は感染症の影響が落ち着き、録音権にかかる著作権使用料徴収額が徐々に回復したことに加え、ストリーミング音楽配信市場と動画配信サービス市場の引き続きの伸長、管理楽曲・取扱原盤の増加、デジタルコンテンツディストリビューション（以下、「DD」）業務における動画配信サイトとの取り組み拡大等により、著作権管理業務及びDD業務の売上が堅調に推移した結果、売上高は5,975,106千円（前年同期比119.3%）、セグメント利益は1,071,613千円（前年同期比123.7%）となりました。

② キャッシング事業

感染症による影響のため、上半期においては予定していたライブビューイング等一部の案件において見送りや延期を余儀なくされました。ミュージカルや音楽コンサートのライブビューイングに加え、舞台やイベント等にも取扱いの幅を広げた家庭向け動画配信コーディネーター、楽曲や映像コンテンツの利用促進コーディネーター等、With/Afterコロナにおける様々なサービスの開発提供に取り組んだものの、売上高は381,975千円（前年同期比78.2%）、サービス構成の変化や人件費増による利益率低下によりセグメント利益は7,040千円（前年同期比18.9%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて704,603千円増加し、7,254,141千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加542,133千円、受取手形及び売掛金の増加61,915千円、固定資産の増加70,877千円によるものであります。

受取手形及び売掛金の増加は、主に当第3四半期に開催した人気アーティストのライブビューイング実施によるものであります。また、固定資産の増加は、著作権等管理事業において使用しているシステムの継続的な改修及び新機能追加等に伴う増加によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における総負債は、前連結会計年度末に比べて321,005千円増加し、3,950,561千円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の増加210,840千円、未払金の増加80,586千円、役員退職慰労引当金の増加94,659千円及び退職給付に係る負債の増加12,369千円の一方で、未払法人税等の減少88,757千円によるものであります。

支払手形及び買掛金の増加は、主に当第3四半期に開催した人気アーティストのライブビューイング実施により権利者へのロイヤリティ分配額を計上したことによるものであります。また、未払金の増加は、著作権管理業務が好調に推移し、著作権使用料の徴収が増加したことに伴い権利者への分配額が増加したことによるものであります。役員退職慰労引当金の増加は、役員報酬制度の改定に伴い役員退職慰労金制度を廃止し打ち切り支給を行うにあたり、内規に基づく廃止時点までの要積立額を引き当てたことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて383,597千円増加し、3,303,580千円となりました。これは主に、利益剰余金の増加360,813千円によるものであります。

利益剰余金の増加は、親会社株主に帰属する四半期純利益の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月13日に公表しました通期の業績予想から変更はありません。

新型コロナウイルス感染症の当社グループ事業への影響については、感染拡大が繰り返される中で引き続き注視すべき状況が続いており、その影響は2023年3月期中続く可能性があるものの、ゆるやかな回復基調となるものと仮定し、連結業績予想にその影響を織り込んでおります。

著作権等管理事業においては、CD/映像ソフトのリリースが徐々に回復するものと見込んでおり、音楽・動画配信市場は引き続きの伸長を想定しております。なお、音楽著作物の利用時期と当社著作権管理業務の売上計上時期にはおおそ1～2四半期のタイムラグが生じます。

キャストインク事業においては、イベント等での関係者感染による延期や中止等の影響を受ける可能性があるものの、With/Afterコロナにおいてライブビューイング等のリアルイベントが活性化することを想定しております。

今後、感染状況や当社事業への影響を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合は、速やかに開示いたします。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,192,542	5,734,676
受取手形及び売掛金	210,568	272,483
仕掛品	—	729
その他	278,647	307,594
流動資産合計	5,681,758	6,315,484
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,552	983
工具、器具及び備品（純額）	16,341	12,908
有形固定資産合計	17,894	13,891
無形固定資産		
のれん	61,766	49,681
ソフトウェア	621,952	705,364
その他	445	623
無形固定資産合計	684,164	755,670
投資その他の資産		
繰延税金資産	91,248	96,272
その他	74,471	72,821
投資その他の資産合計	165,720	169,094
固定資産合計	867,779	938,657
資産合計	6,549,537	7,254,141

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	701,245	912,086
未払金	2,352,226	2,432,813
未払法人税等	153,056	64,299
賞与引当金	86,686	89,046
役員賞与引当金	25,663	24,369
その他	50,865	61,106
流動負債合計	3,369,744	3,583,722
固定負債		
役員退職慰労引当金	165,097	259,756
退職給付に係る負債	94,713	107,082
固定負債合計	259,810	366,839
負債合計	3,629,555	3,950,561
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,192,392	1,198,602
資本剰余金	728,931	737,968
利益剰余金	1,217,787	1,578,601
自己株式	△219,129	△211,591
株主資本合計	2,919,982	3,303,580
純資産合計	2,919,982	3,303,580
負債純資産合計	6,549,537	7,254,141

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	5,560,022	6,412,361
売上原価	4,106,090	4,671,990
売上総利益	1,453,932	1,740,370
販売費及び一般管理費	997,527	1,213,273
営業利益	456,405	527,096
営業外収益		
受取利息	42	27
受取配当金	325	339
為替差益	—	1,370
助成金収入	3,000	—
還付加算金	—	768
その他	1,356	67
営業外収益合計	4,725	2,573
営業外費用		
固定資産除却損	—	0
営業外費用合計	—	0
経常利益	461,131	529,669
税金等調整前四半期純利益	461,131	529,669
法人税等	144,157	168,856
四半期純利益	316,973	360,813
親会社株主に帰属する四半期純利益	316,973	360,813

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	316,973	360,813
四半期包括利益	316,973	360,813
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	316,973	360,813

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年7月21日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として2022年8月8日を期日とする自己株式の処分(3,594株)を行い、資本剰余金が2,826千円増加し、自己株式が7,879千円減少しております。また、当第3四半期連結累計期間において新株予約権の行使により資本金及び資本準備金がそれぞれ6,210千円増加し、単元未払株式の買取りにより自己株式が342千円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が1,198,602千円、資本剰余金が737,968千円、自己株式が△211,591千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。